

保護者の皆様

札幌市立厚別東小学校
校長 堀 朋子

全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、第6学年児童を対象に4月に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、札幌市教育委員会より札幌市全体の傾向が出されました。これを受けて、本校の調査結果の分析を進め、成果や課題の方向性を示しましたので、お知らせいたします。

今後も、調査結果をもとに学校としての指導方法の改善を図ってまいります。

- 【調査の内容】
- 教科に関する調査（国語、算数、理科）
 - ①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
 - 児童生徒に対する調査（web 回答）
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	□〔思考力・判断力・表現力等〕の全てと、〔知識及び技能〕の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」が、全国平均を上回っている。 ・「読むこと」では、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることについて、全国平均より正答率が低くなっている。	●問題に適した解答方法を考え、表現すること。	○問題文をそのまま書き写して解答する「書き抜き」や文字数の指定といった出題形式に着目して解答するような学習活動の充実。
算数	□「数と計算」、「図形」「測定」、「変化と関係」「データの活用」の全ての領域で、全国平均を上回っている。 ・「図形」では、基本図形に分割できる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述する問題で、全国平均と同様、正答率が低くなっている。	●問題の解き方・考え方について、その方法を理解し、学習したことを生かして表現すること。	○前の時間や前の単元などで学習してきた事項を想起させる学習活動の充実。 ○辺、頂点、角など、これまで学習してきた図形の性質を生かして、新しい図形の特徴を考える学習活動の充実。

理 科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	□「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域について、全国平均を上回っている。 □「生命」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域で、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ・「地球」を柱とする領域では、結果を基に結論を導いた理由を表現する問題について、全国平均より正答率が低くなっている。 ・「生命」を柱とする領域では、違いや共通点から問題点を見出し、表現することについて、全国平均より正答率が低くなっている。	●主に実験において、予想と結果をもとに「なぜそうなったのか」という理由を考えたり、結果から導かれる法則などを結論として表現したりすること。 ●これまで学習してきたことをもとに、「水は温めると水蒸気に、冷やすと氷になる」のような概念として捉え、理解すること。	○調べたいことに応じて実験の条件を変え、その結果から考えられる結論を話し合う学習活動の充実。 ○実験から得られたことや、これまで学習してきたことをもとに、他の事象が起きた理由を考えたり説明したりする学習活動の充実。

《主に学校生活に関わる質問事項から》

- 国語や算数の学習が得意かどうかという質問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」という肯定的な回答をした児童の割合が、全国平均と比べて少ない。
- 「算数の問題が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」という質問に対して、「当てはまる」「ややあてはまる」と回答した割合が、全国平均と比べて少ない。

《主に学校生活以外の質問事項から》

- 「毎日同じくらいの時間に寝ていますか」という質問に対して、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合が、全国平均と比べて少ない。

学力学習調査では、どの科目、どの領域も全国平均とほぼ同じかを上回っているが、質問紙からは学習が得意ではないと感じている割合が少なくない。学習が「わかる・できる」ということが「楽しい」に結び付けられるように、学んだことが次に活かせることを意識できる学習活動を充実させる。また、子どもたちが自分で選択・決定できる学習場面を大切にすることで、「学びの楽しさ」をより感じられるような取組を充実させる。

算数の学習については、TT や少人数指導といった指導形式の工夫を用いて、粘り強く学習に取り組む姿勢を育てていく。

保健や家庭科の学習を通して、生活のリズムを整える大切さを指導していく。